

BEETHOVEN  
symphony  
No.9

新たな年に  
平和の祈りを込めて  
響け！ 歓喜の大合唱

名水の里に響け!!  
よみこび  
歓喜の  
ハーモニー

- 主催 / 黒部で第九を歌う会  
北日本新聞社  
北日本放送  
富山県合唱連盟  
(財)黒部市国際文化センター
- 後援 / 黒部市  
黒部市教育委員会  
黒部市芸術文化振興協会  
黒部ライオンズクラブ  
黒部ロータリークラブ  
黒部中央ロータリークラブ  
黒部青年会議所  
黒部商工会議所青年部  
くろべ女性団体連絡協議会  
岩井理花友の会



第6回 **名水の里第九コンサート**

2002.1.14.mon

開場PM1:00 開演PM2:00  
会場 / 黒部市国際文化センターコラーレ(カーターホール)

黒部市との姉妹都市、  
アメリカ・ジョージア州マコーン市より来日。

国境を越え  
人種を越え  
今、平和への願いを  
一つにするマエストロ。

マコーン・シンフォニー常任指揮者  
エイドリアン・グナム氏。



MACON  
SYMPHONY  
ORCHESTRA

#### ADRIAN GNAM

Music Director and Conductor  
85440 Appletree Court Eugene, Oregon 97405

Adrian Gnam has been the Music Director and Conductor of the Macon Symphony Orchestra since 1983. A former principal oboist of the Cleveland Orchestra under George Szell and the American Symphony Orchestra under Leopold Stokowski, Mr. Gnam has studied under some of the major figures in the field: Pierre Monteux, Max Rudolf and George Szell. Mr. Gnam is a graduate of the University of Cincinnati College Conservatory of Music. He is a former Music Director of the Midland, Tuscaloosa and Eugene Symphony Orchestras and for fifteen seasons was Principal Guest Conductor of the Philadelphia Concerto Soloists Chamber Orchestra. Mr. Gnam has also served as Music Director of the Shreveport Summer Music Festival and is a past president of the Conductors Guild.

Maestro Gnam has guest conducted numerous orchestras in both the United States and abroad including: Alabama, Jacksonville, Florida, Indianapolis, Louisville, Grand Rapids, and Puerto Rico Symphonies; the Cincinnati, Erie and Eugene Ballet Companies; the Missouri Regional Opera Company; Spoleto, Interlochen, Chautauqua, Colorado, Eastern and Texas Music Festivals; and orchestras in Rumania, Venezuela, Italy, Mexico, Yugoslavia and Brazil.

Mr. Gnam served for six years as the Assistant Director and for two years as the Director of the Music Program of the National Endowment for the Arts. He was also an Associate Professor of Music at Ohio University for seven years and for nine years was on the artist faculty of the University of Cincinnati College Conservatory of Music. He has also served as a Visiting Professor of Conducting at the University of Houston, and was recently appointed Visiting Artist at Mercer University.

指揮者 エイドリアン・グナム

#### Adrian・Gnam

シンシナティ大学音楽学部卒業。

ピエール・モンロー氏、マックス・ルドルフ氏、ジョージ・セル氏に師事。

クリーブランド・オーケストラ、またアメリカン・シンフォニー・オーケストラにて第1オーボエ奏者として活躍した。ユージーン交響楽団の音楽ディレクター、フィラデルフィア交響楽団の客員指揮者、シェイヴポート・サマー・フェスティバルの音楽ディレクターを務める。また、国際芸術者基金の音楽プログラムのディレクター、オハイオ大学音楽学部の助教授、シンシナティ大学音楽学部講師、ヒューストン大学客員教授を経て、マーサー大学客員指揮者に任命される。

1983年からマコーン・シンフォニーの常任指揮者、指揮者協会前会長。

米国各地における活躍も目覚しく、アラバマ、ジャクソンビル、フロリダ、インディアナポリス、プエルトリコ、そしてシンシナティなど各地の交響楽団、ユージーン・バレエ団、ミズーリ・オペラ劇場など数えきれないほどの楽団と共演している。さらに、海外ではルーマニア、ベネズエラ、イタリア、メキシコ、ユーゴスラビア、ブラジルなどのオーケストラとも共演を果している。



# 名水の里に響け！！



黒部で第九を歌う会会長  
**森丘 實**  
Minoru Morioka  
Executive Director, International Music Festival  
President, Beethoven's Symphony No.9 Choir

## 「コラーレに響きあう」第6回国際交流の「歓喜」

黒部市国際交流音楽祭第6回名水の里第九コンサートは、今回姉妹都市・米国ジョージア州メーコン市のエイドリアン・グナム氏(メーコン・シンフォニー常任指揮者)を招いて開催する運びとなりましたことを皆様と共に新年の大きな喜びとしたいと存じます。

昨秋より、メーコン市における黒部市との姉妹都市提携25周年式典の祝典音楽会に参加する熱意にもえて、結団準備・練習を進めてまいりました。しかし、ご案内のように、米国をはじめとした未曾有の国内外の情勢のなか、新たな年に平和の祈りを込めて、このニューイヤーコンサートとなりました。

いまここ、コラーレのカーターホールは桜花満ちる姉妹都市・米国メーコン市とのジョイント合唱で、海を越えた歓喜のハーモニーを響きわたらせようとした夢と回想の渦に包まれようとしています。

これ迄に、ご指導・ご支援賜りました富山県・黒部市・YKK株式会社・黒部商工会議所の方々をはじめ関係諸団体・関係各位にあらためて厚くお礼申し上げます。

## お祝いのことば

第6回名水の里第九コンサートが、ここ黒部市国際文化センター・コラーレのカーターホールにおいて盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

今回は、アメリカ合衆国メーコン市と黒部市の姉妹都市提携が25周年を迎え、これを記念にメーコン・シンフォニーの常任指揮者エイドリアン・グナム氏をお招きした国際交流音楽祭であるとのことであり、心から称賛、敬意を表するものであります。

黒部で第九を歌う会の皆様には、これまでに5回開催されたコンサートの中で、2度にわたりメーコン市から市民合唱団員を招いての音楽交流など国際親善文化交流としての役割を果たすとともに、私たちに合唱のすばらしさを伝えていただきました。

新しい地域文化の創造は、私たち地域の住民が共に文化に親しみ味わっていく中からはじめて生まれてくるものといえるでしょう。この第九コンサートに積極的に企画・運営に参加された音楽を愛する皆さんの情熱と行動力に対し、深く敬意を表するものであります。どうぞ、皆様には、日頃の練習成果を十分に発揮され、本日のコンサートが成功裡に終了されますようご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

## 「国際交流の輪さらに大きく」

6回目を迎える「名水の里第九コンサート」が盛大に開催されますことは、誠に喜ばしいことです。県東部で「第九」を開催したいという市民の熱意が実を結び、1993年に第1回の演奏会を開催し、今回は2002年の年頭を華やかに飾るコンサートとして3年ぶりの開催となります。この演奏会は国際交流の盛んな黒部市らしい特徴をもっており、これまで、黒部市と姉妹都市のアメリカ・ジョージア州メーコン市や同じくオランダ・スネーク市の合唱団、また、富山県と友好州のアメリカ・オレゴン州の青少年オーケストラが出演しています。今回は指揮にアメリカで活躍中のメーコン・シンフォニー常任指揮者エイドリアン・グナム氏を招きました。管弦楽は地元で活躍中の富山シティ・フィルハーモニー管弦楽団が務めます。「黒部で第九を歌う会」の皆さん130名は9月から精力的に練習に取り組んできました。ソリストのソプラノ・岩井理花(黒部市出身)、アルト・安念千重子(砺波市出身)、テノール・五十嵐 修、バス・大澤 建各氏の熱唱とともに、必ずや感動的な演奏会になるものと確信しております。

国際情勢は混沌としておりますが、平和を願うこの「第九」の演奏会を通じて、国際交流の輪がますます広がることを祈念いたします。



黒部市長  
**荻野 幸和**  
Yukikazu Ogino  
Mayor of Kurobe



北日本新聞社代表取締役社長  
**梅沢 直正**  
Naomasa Umezawa  
President, Kita-Nihon Newspaper

# 歓喜のハーモニー



北日本放送株式会社代表取締役社長  
**横山 哲夫**  
Tetsuo Yokoyama  
President, Kita-Nihon Broadcasting Co.

## 「人類愛高らかに」

「名水の里第九コンサート」の開催おめでとうございます。今回は3年ぶり第6回目となりますが、第1回目から応援団を自負してきたKNB北日本放送としても、いまや黒部の地で立派に伝統を身につけつつあるこのコンサートの足跡を振り返るとき、胸に熱いものを覚えます。ニューイヤー・コンサートとして開かれる今回の指揮者には、黒部市の姉妹都市米メーコン市のメーコン・シンフォニー常任指揮者であるエイドリアン・グナムさんをお迎えすると聞きました。その米国は昨年9月11日以来、悲しみと怒りの国になったかに見えます。しかし、世界は今こそ「全ての人々は兄弟になる」という詩人シラーによる第九の歌詩のもとで高らかに人類愛を歌いあげたベートーヴェンに思いを馳せるべきだと思います。今日、ここコラーレのカーターホールで、「第九」が人と人の心をつなぎとめて、優しく、気高く、壮大に響き渡ることを心からお祈りします。

## 「第九」を「心の平和」の祈りとして

名水の里で知られる「黒部の第九」も今回は3年ぶりに、ニューイヤー・コンサートとして第6回目を迎え開催されますことを心からお祝い申し上げます。

わが国には、内親王さまご誕生の明るい喜びのニュースがありますが、世界は、米国の同時多発テロ事件をはじめ、狂牛病事件など、人間による人間破壊の不思議な事態に揺れ動いています。こうした状況にあつて、このたびの「新たな年に 平和の祈りを込めて 響け！歓喜の大合唱」は、世界共通の芸術である音楽を通して、人々の心に安らぎと勇気、夢を与えるものとして、音楽の持つ魔術的な力を発揮してくれるものと期待しています。

今回も、姉妹都市アメリカのメーコン市から、メーコン・シンフォニーの常任指揮者であるエイドリアン・グナム氏を迎え、富山ではお馴染みのソリスト、さらに、管弦楽は富山での活躍が著しい富山シティ・フィルハーモニー管弦楽団、合唱が昨年より練習を重ね万全を期された黒部で第九を歌う会、その協演は、「心と音」が響き合う中で、必ずや聴く人の感動と興奮を高めてくれることでしょう。富山、新湊の「第九」とともに、「黒部の第九」が一層発展されんことを祈念いたしております。



富山県合唱連盟理事長  
**中村 義朗**  
Yoshiro Nakamura  
Board of Directors, Toyama Choir League





BEETHOVEN  
symphony No.9

曲 目 ● L.V.Beethoven

：交響曲第九番二短調 作品125「合唱」

：序曲「レオノーレ第3番」 作品72

指 揮 ● エイドリアン・グナム氏(メーコンシンフォニー常任指揮者)

管 弦 楽 ● 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

ソリスト ● ソプラノ 岩井 理花

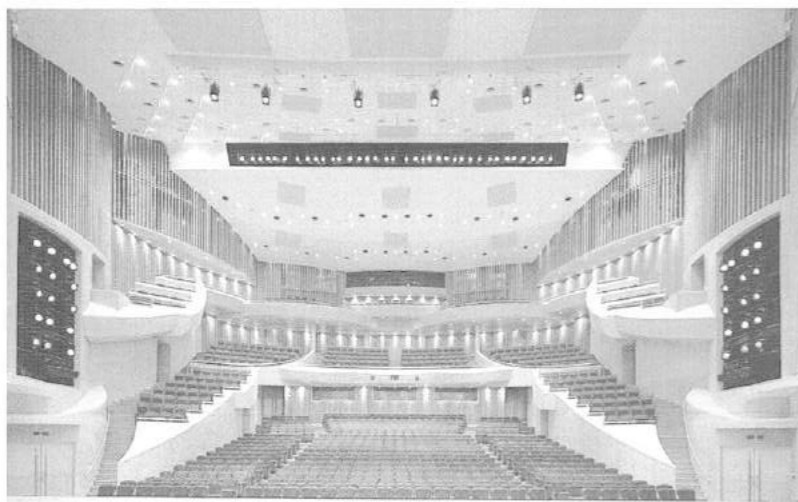
アルト 安念 千重子

テノール 五十嵐 修

バ ス 大澤 建

合 唱 ● 黒部で第九を歌う会

合唱指揮 ● 浅岡 節夫



Program Note

曲目解説

交響曲第九番  
二短調 作品125「合唱」

ベートーヴェンが「第九」を完成させたのは1824年の春まだ浅いころのことである。当時すでに53才になっていた彼は聴覚をまったく失っていた。しかし、その偉大なる精神と長年心の中に温めていたシラーの詩への熱い思いが、この大曲を完成に導いたのである。

ベートーヴェンがシラーの頌歌「歓喜に寄す」に出会ったのは、まだ20代の初めのころ。この詩の底に流れる民主的な思想にたいへん感激したベートーヴェンは、その時からいつかこの詩に曲をつけたい…と願っていたのである。その積年の思いがようやく実行に移されることになったのは47才のとき。実に30年という歳月を経て初心を貫いたことになる。

ベートーヴェンはこの偉大なる交響曲で一体何を言いたかったのか。自分自身の苦悩を経て喜びへ、ということだけでは決してないはず。彼は生涯独身であった。しかし、女性にあこがれ、友人を求め、弟や甥などの家族を大切にた。彼は人間をこよなく愛する人であった。この冒頭の「友よ!」という呼びかけは、すべての友に対するものなのである。自分のまわりの友、世界の友、そして時を越えて、21世紀に生きている私たちにも「友よ!」と語りかけているのだと思う。「みんなで苦しかったことを忘れ、明日に希望をつなごうじゃないか。」とベートーヴェンは言いたかったのではないか。その温かな人間好きのベートーヴェンの心情が音楽から感じられるからこそ世界の人々にこんなにこの曲が愛されているのではないだろうか。彼はモーツァルトのように天才とは呼ばれないし、バッハのように家庭に恵まれたわけでもない。そしてシューマンのように繊細とも評されないし、ショパンのように容姿に恵まれたわけでもない。ベートーヴェンは努力の人といわれ、私たち普通の人間の代表格のような親密感を備えている。そんな感情を持ったベートーヴェンが、すべてのものに対する愛がいかに大切かということ、その音楽で訴えていると思う。



◆第1楽章 Allegro ma non troppo un poco maestoso

広大な宇宙を思わせる神秘的な力強い旋律が、壮大な交響曲の開始を告げる。これは人生の苦悩や悲しみ、希望や慰めなどあらゆる感情が表現されている楽章である。ベートーヴェンは自分の生涯を振り返り、人生を戦いに例えたのではないだろうか。劇的で強いメッセージを持つ、幕開けにふさわしい音楽である。

◆第2楽章 Molto vivace

弦の鋭い響きが全体に躍動感を与えている。また、ティンパニの小気味よいリズムも印象的である。これは初演時に大きな喝采を持って迎えられた楽章である。衝撃的なティンパニの独奏は当時の人々を驚かせ、アンコールの拍手がなりやまなかったとか。魂が浄められるような美しさ、そしてユーモアの精神も感じられる。

◆第3楽章 Adagio molto e cantabile

美しいゆるやかな楽章で、神への感謝を表すような祈りの気持ちが表現されている。やすらかな主題の変奏にはさまれた中間部が特に美しく歌われる。終わり近くのホルンの長いソロは、この時代としては画期的な用いられ方だったよう。歓喜を前にしたやすらぎを感じさせ、来るべき何物かに心の準備をうながすかのような。

◆第4楽章 Presto-Allegro assai

プレスト(きわめて速く)のファンファーレから始まり、低弦が何かを語りかけるようにレシタティーヴォを奏でる。続いてこれまでの3つの楽章の主題が少しずつ順番に現われてはそのたびにレシタティーヴォが打ち消し、そしてついにあの「歓喜の主題」が聞こえてくる。やがて大音響とともにバリトン独唱によって「おお、友よ、このような調べではなく、もっと快い、喜びに満ちあふれた調べを歌おう」と力強く歌われ、独唱、重唱、合唱、オーケストラを一体化した歓喜の合唱「抱かんもろ人よ、心あわせて…」が始まる。歌はオーケストラに従うことなく、またオーケストラは歌に従うことなく、互いに豊かに融合し合っているのである。

# 歓喜の歌

## 《ベートーヴェンの自作》

おお、友よ、この音楽ではない。  
もっとこころよい、  
もっと喜びに満ちた音楽を、  
われわれはかなでよる。

## 《F.シラー原詩》

喜びよ、美しい神々の火花よ、至福の島エリジウムの娘よ、  
われわれは火のように酔いしれて、崇高なところ、おまえの聖所へ踏み入る。  
おまえの魔力は世のならわしがきびしく別けへだてたものを  
ふたたび結び合わせ、すべての人びとは  
おまえのやさしい翼のやすらうところに兄弟となる。  
一人の友の友となる大きな成功を得たものは、  
やさしい妻をもち得たものは地上にただ一つの魂でも  
自分のものと呼ぶ者は、その歓喜をともにせよ。  
そしてそれができなかった者は、  
泣きながらひそかにこの仲間から立ち去るがよい。

すべてのものは自然の乳房から喜びを飲む。  
すべての善いものも、すべての悪いものも、  
自然のバラ色の道を辿ってゆく。自然はわれわれに接吻を与え、  
ふどうと、死の試を経た友を与えた。快楽は虫に与えられた。  
そして光の天使ケルブは神の前に立つ。うれし気にひかりかがやく太陽が  
壮麗な天界をわたるように、兄弟たちよ、  
英雄が勝利に向かってすすむように、きみたちの道を喜ばしく進め。

数百万のひとびとよ、抱き合え。この接吻を、全世界へ。  
天空のあなたに愛する父が住んでいるにちがいない。  
きみたちはひざまづくか、  
数百万のひとびとよ。  
創造主に気付くか、世界よ。  
天空のあなたに創造主を求めよ。  
星の彼方に彼は住んでいるに違いない。

O Freunde, nicht diese Töne!  
Sondern laßt uns angenehmere  
anstimmen, und freudenvollere.

Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,  
Wir betreten feuertrunken, Himmlische, dein Heiligtum!

Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt;  
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen, Eines Freundes Freund zu sein,  
Wer ein holdes Weib errungen, Mische seinen Jubel ein!  
Ja, wer auch nur eine Seele sein nennt auf dem Erdenrund!

Und wer's nie gekonnt, der stehle,  
Weinend sich aus diesem Bund!

Freude trinken alle Wesen, an den Brüsten der Natur;  
Alle Guten, alle Bösen Folgen ihrer Rosenspur

Küsse gab sie uns und Reben, Einen Freund, geprüft im Tod;  
Wollust ward dem Wurm gegeben, Und der Cherub steht vor Gott.

Froh, wie seine Sonnen, fliegen durch des Himmels prächt'gen Plan,  
Laufet! Brüder, eure Bahn, Freudig, wie ein Held zum Siegn.

Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt!  
Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen?  
Ahnest du den Schöpfer, Welt?  
Such' ihn überm Sternenzelt!

Über Sternen muß er wohnen.

## レオノーレ序曲 第3番 作品72b

ベートーヴェンが書いた序曲は全部で11曲あるが、そのうち4曲は歌劇「フィデリオ」のために作曲されたものである。たったひとつの歌劇のために4つの序曲…。このようなことは他に例を見ない。レオノーレという女性が男装してフィデリオと名を変え、政敵ピツアロのために幽閉されている夫フロスタンを救い出す…。という熱烈な夫婦愛をテーマとしたこの勸善懲惡の歌劇は1805年(35才)に初演された。そのときに演奏されたのが「レオノーレ 第2番」で翌年の改訂上演の際に書かれたのが「第3番」である。「第1番」はベートーヴェン自身が不満足だった所から作曲者の生前には発表されなかった。そして、それから8年後の1814年にさらにペンを加え、決定版として上演されたときに演奏されたのが「フィデリオ序曲」である。「レオノーレ 第3番」は、4つの序曲のなかでは最も規模が大きく、劇の中の旋律をいくつか使っているの、ちょうどこの劇をぐっと圧縮したようなかたちでできている。悲劇的・神秘的な気分から始まり、しだいに明るさを増していき、歓喜のクライマックスで締めくくるといった設計は、実にみごとである。



## ベートーヴェンの生涯

ベートーヴェン  
(Ludwig van Beethoven)  
1770~1827

現在のドイツ連邦共和国の首都ボンに生れる。世界の楽聖と呼ばれ、古典派音楽を完成し、ロマン派音楽の導入を果たした史上最大の音楽家である。父・ヨハンに幼少から厳しい音楽教育を受け、12歳で作曲するなど早くから楽才を示した。17歳でウィーンに出てモーツァルトに出会う。モーツァルトから優雅、優美、そしてあの時代に大いに尊重されていた洗練といった感覚を、そしてハイドンは構成の手際よさを学ぶ。25歳の頃から即興演奏のピアニスト作曲家として活躍したが、20代後半から聴覚の異常に悩まされていた。加えて失恋により一時は自暴自棄になり有名な「ハイリゲンシュタットの遺書」を書き自殺を決意した。しかし一度死を決意したベートーヴェンは、外界の音は聞こえなくても心の中の音の存在を発見する。死線を越えたベートーヴェンは、かつてない靈感の強大な源泉を意識し、次々と名曲を生んだ。また、シェークスピアやシラーの作品に傾倒しそれらを音楽で次々と表現していった。ベートーヴェンの作品は「自由」「平等」「博愛」の精神を約束するものであり、万人が平等であり兄弟であるという思想が根底にある。特に聴力を失うという失意の中にありながらも不撓不屈の精神で作品を生み続けた。ベートーヴェンの天賦の才をもって我々に移譲した全人類の、宇宙的そして宗教的感情を讃えた作品はおよそ人間が生き続ける限り永遠なものとして残るであろう。ベートーヴェンは1827年「辛抱しながら考える。一切は何かしら良いものを伴って来る」という手記を残し、3月26日、嵐と吹雪の中息を引き取った。(57歳)

# Performer



## 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

県内初の社会人オーケストラとして、1983年に誕生。以来、県民に愛されるオーケストラを目指して活動を展開している。オーケストラ演奏をこの上ない楽しみとするメンバーたちは、現在120名あまりを数え、週末の練習に県内一円から活動拠点の富山市芸術創造センターへ集まってくる。団員の平均年齢は、30代前半であり、家庭においては子育て真っ最中という人が多いので、練習の際

には託児室を設けて活動をサポートしている。主な活動は、定期演奏会をはじめとして、地域コミュニティコンサートなど年間3~4回の演奏会を実施しており、毎週の練習もアットホームな雰囲気の中、充実した内容で行われている。また、全国のアマチュアオーケストラとの交流にも積極的に取り組んでいる。

# Soloist

Soprano  
Iwai  
Rika



ソプラノ 岩井 理花

黒部市出身。東京芸術大学および同大学院修了。日本ではもちろん海外でも数々のオペラに主演として活躍し、日本を代表するソプラノ歌手であることはいままでのないが、昨年度は2度にわたるルーマニアにおいて「マダムバタフライ」を演じ聴衆のスタンディングオベーションを受けた。最近の出演オペラでは、「東フィル・コンチェルトンテシリーズ」におけるヤナーチェク作曲「イエヌーフア」のタイトルロール。またシュレーカー作曲「はるかなる響き」の主役グレーテ。モーツァルト作曲の「コシ・ファン・トゥッテ」ではフィオルディリーズ役。新国立劇場ではワーグナー作曲「ラインの黄金」のフライア役。ヴェルディ作曲「オテロ」のアズデモナ役など。日本のオペラでも三木稔作曲の「春琴抄」の春琴。東京文化会館リニューアルオープン記念公演・原嘉壽子作曲「脳死を超えて」の森子。そして関宮芳生作曲「鳴神」の雲の絶間姫役と様々な役柄をもこなす歌姫である。北日本新聞芸術奨励賞受賞、新川地区発展賞奨励賞を受賞。二期会会員。

Alto  
Annen  
Chieko



アルト 安念千重子

東京芸術大学声楽科卒業。柴田睦陸、戸田敏子、佐々木成子の諸氏に師事。1960年新人演奏会、62年ジョイントリサイタル、73年からオペラ活動に入り、「カルメン」のタイトルロールをはじめ「蝶々夫人」「アイダ」「フィガロの結婚」等数々のオペラに出演。邦人作品では「黒船」「香妃」「天守物語」など多数に出演。二期会、藤原歌劇団、横浜シティオペラの公演に参加するなど活躍の場は広く、音質の豊かさや安定した歌唱力、演技力には定評がある。一方、「第九」、「メサイア」、「復活」「大地の歌」などオーケストラとの共演やリートの分野でも活躍。また、横浜シティオペラの運営委員、横浜音楽文化協会の常任幹事として地域の文化活動にも積極的に取り組んでいる。79年度第7回ジローオペラ賞受賞。平成8年度北日本新聞文化賞、富山県功労賞受賞。現在洗足学園大学講師。砺波市音楽顧問。二期会会員。

# メンバー

Violin	中川 洋司 塩崎 章子 広瀬有希子 寺田真紀子	宮本 範子 丘山ひろみ 名執 純子 橋屋 幸美	相川 清 朝木 晴美 松下 亮 仲西さやか	川端 弘 渡辺 優子 佐々木利佳 松下 タエ	沢泉 弘 高橋久美子 沼田 典子 平野健比古	吉澤 真弓 広田 弘美 山里 香恵 バス・パティグラー	米沢由佳子 米丘 博 又場 龍大 増田 美香
Viola	中田 芳松 吉田 彰 高田 亮二 大森 祐子	松島真二郎 道用 悦子 高野由貴子 中 秀晃	寺崎健太郎 高島久美子 東 ひとみ		朴谷 修 広田 弘毅 山下 健治 村田 雅子	松島健一郎 島田 育子 川東美千代	堀田 五月 素野亜希子 島田 一恵
Cont rabass	吉澤 克仁 木村 茂	上野 泰孝 表 貴之	高島 康裕 勝野かほり		Flute 伊藤ひでみ 古谷由香里	石田 孝弘	馬渡 良成
Oboe	保科 浩一 森田 里香	北岡 明	松嶋めぐみ		Clarinet 佐々木桂治 三栗 祐子	横井 省二 清水 友紀	大田 昌子
fagotto	篠崎 秀一 森田 直人	永原 秀樹	西野 誠一		Horn 川添 等 野崎 美保 大坪 建	坂井 禎 上野 祐子	宅美 俊史 安川 哲二
Trumpet	松住 一史 中神 邦藏	上田 智之 古井 清紀	南 昌樹		Trombone 大田 昭男 藤井 良浩	小森 英芳	沼田 典明
Percussion	花房 清直	竹沢 豊	山口 雅美	高沢 千尋	女川 好野	高本 篤志	

Tenor  
Igarashi  
Osamu



テノール 五十嵐 修

武蔵野音楽大学声楽科卒業。森 敏孝、渡辺一夫の両氏に師事。第14回イタリア声楽コンソルソでシエナ大賞ならびにテノール特賞受賞。第20回日伊声楽コンソルソ第2位、第53回日本音楽コンクール第2位。(1位該当者なし) イタリアにおいて故マリオ・デル・モナコ氏に師事。ディプロマを授与される。モーツァルト「魔笛」のタミーノ役でオペラデビュー。その後ロッシーニ「オテロ」のオテロやカッシオ、ベートーヴェン「フィデリオ」のフロレスタン、と数々のオペラに出演しその優れた音楽性は常に高い評価を得ている。コンサートの分野では「第九」「荘厳ミサ」「メサイア」「レクイエム」等のソリストとして東京をはじめ全国各地のオーケストラと共演。2000年公演されたヴェルディ「オテロ」でタイトルロールを演じ圧倒的な歌声と演技で観客を魅了した。桐朋学園大学音楽科非常勤講師。二期会会員。

Bass  
Osawa  
Ken



バス 大澤 建

日本大学芸術学部音楽科にてホルンと声楽を専攻後に二期会オペラスタジオ修了。数多くの二期会オペラに出演し、豊かな声量と存在感溢れる演唱で好評を得る。1993年小澤征爾指揮「ファウストの却罰」でソリストを務め高い評価を得、その後ドイツに渡り数多くのオペラに出演し研鑽を積む。97年以降は日本に活動の拠点を移し日生劇場「魔笛」、名古屋フィル「ワルキューレ」、読売日響「ピーター・グライムズ」、99年には二期会「タンホイザー」ヘルマン役で重厚な歌と演技を絶賛された。2000年には二期会「魔笛」、新国立劇場「サロメ」、大阪フェスティバルホール「コシ・ファン・トゥッテ」等に出演する他、国内主要オーケストラと共演。また、ヘルムート・ヴィンシャーマン指揮のドイツ・パッサ・ゾリステンと共演するなどオラトリオ、リートの分野においても活躍しており、パッサから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち高い評価を受けている。二期会会員。



皆様のあたたかいご支援により第6回名水の里 第九コンサートを開催することができました。

四十物昆布 黒部市生地339-5 ☎0765-57-0321	(株)エッセン 黒部市中新71-2 ☎0765-52-5260	(株)エムテック 黒部市吉田200 ☎0765-56-8885
おかげさまで50周年 関西電力(株) 宇奈月町598-1 ☎0765-62-1560	黒部製函(株) 黒部市吉田9425 ☎0765-56-9065	黒部クリーン(株) 黒部市北野47-2 ☎0765-52-0047
黒部石油販売(株) 黒部市中新484 ☎0765-52-1871	(株)サニードライブロダクト 黒部市堀切1525-1 ☎0765-54-2700	菅野印刷興業(株) 黒部市若栗2630 ☎0765-54-0112
(有)タートルライン 黒部市石田6923-1 ☎0765-54-4312	第一建設(株) 黒部市飯沢1077 ☎0765-56-8125	棚山ゴルフ倶楽部 朝日町棚山 ☎0765-84-8800
東都ガステック(株) 魚津市北鬼江2327 ☎0765-22-6800	(株)トヨックス 黒部市前沢4371 (本社)☎0765-52-3131	(株)ニイカワポータル 黒部市新牧野152 ☎0765-54-5355
室内装飾 ひろかわ 朝日町・桜町 ☎0765-82-1168	装苑ひろの 黒部市新牧野311(メルシー内) ☎0765-54-1203	藤が丘クリニック 黒部市生地中區104-3 ☎0765-54-9888
北星ゴム工業(株) 黒部市岡362-14 ☎0765-52-0001	北陸機材(株) 富山市赤江1-17-1 ☎076-441-5411	ホテルロイヤルバリー黒部 黒部市天神新353-1 ☎0765-54-1000
(株)堀内商会 黒部市荻生6855 ☎0765-54-0511	松倉呉服店 黒部市三日市3117 ☎0765-54-0529	皇国晴酒造(資) 黒部市生地四十物296 ☎0765-56-8028
(株)ミツイ 黒部市中新398 ☎0765-52-0092	(株)山口技研 入善町道古 ☎0765-72-4344	YKKエンジニアリング(株) ☎0765-57-0746
YKKクリーン& グリーンサービス(株) ☎0765-57-9730	(株)YKK保険サービス ☎0765-57-0758	YKK警備(株)

生地温泉たなかや  
黒部市生地吉田新230 ☎0765-56-8003

黒部ライオンズクラブ

会長 松倉 正機

黒部金融協会

黒部中央ロータリークラブ

会長 平野 明

黒部ロータリークラブ

会長 菅野 正憲

 YKK株式会社